

不退転

第 132 号
東江中学校
校長 神元 勉

生活目標の発表

■11月の生活目標の反省:読書推進委員会

11月の生活目標は、『読書習慣を身につけ、心と頭を進化させよう』で、読書推進委員会では、『学級対抗☆読書でパズル対決!』を企画しました。その取組結果を報告します。まず、バトル達成者の総数は、620名でした。参加してくれた皆さん、ありがとうございました。
読書月間を通して良かった点は、意欲的に取り組む学級が多く、対決を楽しみながら読書月間が盛り上がったことです。反省点は、読書月間中に本を1冊も借りていない生徒がいたことです。



- ★学級賞 3年3組
- ★『Bookポップ』
- 1年 島袋 桃花
 - 2年 玉城 桜
 - 3年 岸本 有彩
- ★『創作ストーリー』
- 1年 大城 日和葵
 - 2年 知名 梅歌
 - 3年 田仲 梨依乃

■12月の生活目標の発表:環境美化委員会

12月の生活目標は、「教室に感謝の心を持つ」とです。21日(木)の6校時にクリーン大会を実施します。このクリーン大会では、二学期にお世話になった教室の床磨きを行います。極力水を使わず、1時間で教室・廊下・窓ガラスをきれいに磨き上げ、机やイスの落書きを消し、ロッカーの整理整頓をしましょう。



早速今日から21日(木)まで、個人のロッカーの整理整頓、机・イスの落書き点検を行います。そして、高得点のクラスを表彰します。一学期の1位は、3年2組でした。9月から11月までのロッカー点検、落書き点検と兄弟学級での黙動清掃の点検も加えて、集計します。

二学期も今月で終わります。身の回りの学習環境をきれいにし、新しい年を迎えましょう。みなさんの協力をよろしくお願いします。



ありがとうの反対語



ありがとうの反対語など今まで考えたこともなかった。教えてもらった答えは:「あたりまえ」

「ありがとう」は漢字で書くと「有難う」「有難(ありがた)し」という意味だ。あることがむずかしい、まれである。めったにない事にめぐりあう。すなわち、奇跡ということだ。奇跡の反対は、「当然」とか「当たり前」

我々は、毎日起こる出来事を、当たり前だと思って過ごしている。歩けるのが、あたりまえ。目が見え、耳が聞こえるのが、あたりまえ。手足が動くのが、あたりまえ。毎朝目覚めるのが、あたりまえ。食事ができるのが、あたりまえ。息ができるのが、あたりまえ。友達といつも会えるのが、あたりまえ。太陽が毎朝昇るのが、あたりまえ。うまれてきたのが、あたりまえ。夫(妻)が毎日帰ってくるのが、あたりまえ。そして:生きてるのが、あたりまえ。

また、ある夫婦の話もしてくれた。晩酌の時、いつも無口の夫が、「ちよっと、お酌してくれないか?」と珍しく妻に言った。台所の片付けをしていた妻は、「今、忙しいから自分でや」と答えた。夫は少し寂しそうだったが、「手酌で酒をついた。その、2、3時間後、夫は急に倒れ、救急車で病院に運ばれ、帰らぬ人となってしまった。それから、妻は、何故あの時、夫にお酌をしてあげなかったのかと、ずっと悔やんだという。あの時何故、もっと、優しい言葉で、こぼれるような笑顔で、感謝の言葉で、接することができなかったのか:誰しも、今日と同じ日が明日も繰り返され、食事をして、仕事ができる。こんな当たり前と思うことが、本当は奇跡の連続なのだ。